

議員全員協議会会議録	
1 開会日	平成25年8月16日 午後 1時30分 開会 午後 3時46分 閉会
2 場 所	第1委員会室
3 出席議員	奥津勝子 二宮加寿子 高橋英俊 渡辺順子 坂田よう子 片野哲生 吉川重雄(早退) 高橋富美子 竹内恵美子 三澤龍夫 関 威國 鈴木京子 清水弘子
4 説明員	町側出席者 中崎町長 栗原副町長 依田教育長 和田参事(危機管理対策担当) 池田危機管理対策副室長 小林主任主事 二挺木政策総務部長 森田政策課長 加藤財政課長 曾根田財政係長 大槻総務課長 岩崎税務課長 熊澤町民税係長 相田町民福祉部長 矢野町民課長 大隅主幹 二宮消防長 三木消防総務課長 土方主幹 福島教育部長
5 職務のため出席した職員	局 長 飯田 隆 書 記 増尾克治
6 協議等の事項	(1) 議会報告会の開催について (2) その他
7 その他	一般傍聴 なし

(1) 町長あいさつ

次の6件について、お知らせを受けた。

①大磯駅前用地利活用の検討について

先月の議員全員協議会でお知らせした大磯駅前用地利活用町民意見交換会を7月28日(日)に実施し、39名の参加があった。

また、「大磯駅前用地の利活用アンケート」の用紙を公共施設9カ所に8月1日(木)から置くとともに、町ホームページでも意見募集を開始した。今後も利活用検討委員会を開催する予定である。

②総合防災訓練の実施について

8月18日(日)に大磯地区で、25日(日)に国府地区で総合防災訓練を実施する。

③藤村忌の実施について

8月22日(日)に島崎藤村を偲ぶ藤村忌を開催する。

④デイトン市への渡航報告について

国際姉妹都市のデイトン市へ7月24日から8月7日まで、町内在住の高校生が2名渡航した。9月7日(土)に、第1回目の派遣高校生である赤井・ホワイトロウ・駒子さんを招いて講演会を行うほか、2名の渡航報告会を開催する。

⑤東日本大震災復興支援事業「ミネルヴァのふくろうと明日の日本」作品展の開催について

9月8日(日)から29日(日)の間、郷土資料館においてアーティスト21名による21作品の展示が行われる。

⑥1市2町ごみ処理広域化に伴う周知について

ごみ処理広域化に伴う新たな分別の開始まで残り1カ月あまりとなり、各地区での説明会も終盤に差しかかっている中、ごみ集積場所での啓発活動を実施し、集合住宅や事業者への説明会も開催していく。

◎主な質疑

問： 大磯駅前用地利活用検討委員会のメンバーは決まったのか。また、委員は公募をしていたが、その応募件数は。

答： メンバーはほぼ決まっているが、まだ委嘱には至っていない。公募町民は8件の応募があり、来週早々に開催される選考委員会において決定する。

問： ごみ処理広域化で、事業用ごみの問題があるが、事業者向けの周知活動はどのように進めているのか。

答： 特定事業所を回収する許可業者には、すでに一度、実際に使用のごみ袋の使い方等を説明し、10月1日からの実施に向けて8月下旬から9月にかけて改めて説明をする予定である。

また、事業者の方には、6月下旬に説明会を開催し、8月下旬に同様の説明会を再度開催する予定。説明会に来れない方もいるため、事

業者向けのパンフレットを作成して配布し、周知に努める。

問： 事業者への説明に際し、商工会との連携はどうか。

答： 商工会事務局とは調整し、事業者説明会においても協力をいただいている。また、事業者向け説明会以外に、商工会の会員の中らごみ処理広域化について説明して欲しいとの要望もあり、対応していく。

(2) 町報告事項

①津波避難タワーの整備について

藤沢市の県立湘南海岸公園に続いて神奈川県内2基目となる津波避難タワーを本町沿岸部に設置する。県では、来年の海開きに合わせて事業実施を図りたいとのことから、本年9月までに設置位置や構造形式等を検討し、詳細設計を経て年度内に工事発注準備を進めるとのことである。

設置場所は大磯海水浴場を含む大磯港周辺区域のうち、津波からの避難に対して有効な施設となるよう検討中である。

藤沢市に設置されているタワーのステージ部分は約50平米で100名を収容でき、本町も同様のものを想定している。

◎主な質疑

問： タワーの高さはどのくらいになるのか。

答： 藤沢市のタワーの総高は12.5mで、津波の高さが10.5mと予測し、そこに余裕高2mを足したものである。ただし作られた地盤面の標高を差引して作られており、タワー自体の高さは概ね5mである。大磯海岸で想定される津波の高さは6.6mであり、一定の余裕高を加味した高さを考えていきたい。

問： 以前、何かの会議資料で西湘バイパスを避難場所として運営できないかという意見があった。県の考えはどうか。

答： 西湘バイパスは約10mの高さがあり、十分避難場所として活用できるということで、県と合同で行った7月13日の津波対策訓練の際、国交省の協力を得て、一部海岸の利用者の方を橋脚上へ避難誘導する訓練を実施した。この時は片側を全面通行止めした上で実施したが、実際の災害時に避難場所として有効に使用できるかどうかは、今後国交省と検討をしていく。多くの人数を収容できる場所として是非検討していきたい。

問： 西湘バイパスへ実際にのぼっていく方法はどのようなものか。

答： 明治天皇観漁の碑の辺りは石積みがあり直接登れるようになっている。今後、交通安全対策上で可能になれば、階段等の設置も検討していく。

②3市3町による公共施設の相互利用について

平成21年から3市3町広域行政推進協議会（平塚市・秦野市・伊勢原市・大磯町・二宮町・中井町）において協議検討を重ねた結果、公共施

設の相互利用を平成 26 年 4 月 1 日から開始する。

今後の手続きとしては、9 月 1 日に協定書を締結し、大磯町都市公園条例施行規則の一部改正を行う。広報おおいそ 9 月号で周知する。

使用料はその市町に住所を有する者と同額とし、かかる経費の負担は施設を設置する市町の負担とする。

◎主な質疑

問： 相互利用できる大磯町の施設は運動公園の野球場と多目的グラウンドの 2 カ所で他の市町より少ないが、その 2 カ所とした理由は何か。

答： 他の施設も検討はしたが、稼働率が高い図書館や郷土資料館、生涯学習館などは、相互利用することで町内の方の利用を狭めてしまうため、相互利用を避けた。比較的余裕のあった 2 施設のみを対象とした。

問： 運動公園の野球場と多目的グラウンドを利用する際、町内の団体の方は町外よりも申し込みが早くできることになっていたと思うが、今後も変わらないか。

答： 現在、町内の方が優先予約できるようにはなっていない。今後も予約システムを利用して予約していただく。

問： 稼働率という点では、運動公園のテニスコートは値上げをしたために平日には余裕が生まれている。指定管理者としても悲鳴を上げていると思うが、その辺りの協議はしたのか。

答： 施設を持つ所管課とヒアリングをし、運動公園の指定管理者とも所管課が協議をしたうえで、この 2 施設とした。

③法人 A に対する法人町民税の還付について

町内に事業所を有する法人 A に対し、日白(日本とベルギー)の租税条約の合意による影響で、外国税控除の額に変更が生じた。町は東京国税局の更正を受け、23 年度分の法人町民税の更正を行い、還付加算金が発生しないよう、緊急を要することから、7 月 30 日に償還金 364 万 5 千 900 円を支払った。

9 月議会初日に専決処分の議案として提案されるため、質疑はなかった。

④大磯町税外収入に対する督促及び延滞金条例の一部を改正する条例について

地方税法の一部改正により、地方税に係る延滞金の利率が引き下げられることに伴い、税外収入に係る延滞金の利率を地方税に係る延滞金の利率に合わせるため、規定の改正を行う。

9 月議会初日に提案される議案。確認という点で、次のような質疑があった。

◎主な質疑

確認質問： 延滞金の割合が引き下げられるというが、7.3%が 14.6%に

改正となっている。この辺りの説明を詳しく聞きたい。

答： 現行の条例が地方税法に合っていない状況があり、これを合わせる形で改正するというものである。

⑤大磯町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について

地方税に係る延滞金及び還付加算金の割合が見直されることになり、税外収入の延滞金割合と同様に、当該条例も見直すもの。内容の説明があり、9月議会初日に議案として提出されるため、質疑はなかった。

⑥大磯町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

地方税法の一部改正により、施行令の一部改正及び施行規則の一部改正が行われたことに伴い、規定の改正と金融所得課税の規定の整備を行うもの。9月議会初日に提案される議案。確認という点で、次のような質疑があった。

◎主な質疑

確認質問： 国保税の条例改正は、先に説明を受けた税外収入や後期高齢者医療の関係条例と同様に、延滞金の引き下げというのがあるのか。

答： 全く違う内容である。国保税条例の中には延滞金の規定はなく、地方税法に規定されている内容に倣う。

確認質問： 地方税法が改正されるのだから、それに合わせて国保税の延滞金の利率は下がると考えてよいのか。

答： 下がる。

⑦大磯町火災予防条例の一部を改正する条例について

建築基準法施行令及び消防法施行令の一部改正を受け、消防用ホース・結合金具・漏電火災警報器の3品目を検定対象機械器具から削除する等の規定の改正を行うもの。9月議会初日に議案として提出されるため、質疑はなかった。

⑧9月議会に提出を予定している大磯町一般会計補正予算及び特別会計補正予算について

内容の説明があり、9月議会初日に議案として提出されるため、質疑はなかった。

(3) 各委員会等の行事報告・予定について

「各委員会等の行事報告・行事予定」の配布により説明は省略。

(4) 報告事項

①委員長等からの報告

○8/16 議会運営委員会の概要・・・坂田副委員長

- 7/18 総務建設常任委員会協議会の概要・・・高橋(英)前副委員長
- 7/26・8/5・12・16 議会だより編集委員会の概要・・・坂田委員長
- ②監査委員からの報告・・・竹内委員
- ③農業委員からの報告・・・関前農業委員
- ④7/18 3市3町広域行政推進協議会総会・・・渡辺前議長
- ⑤7/23・24 県町村議会議長会行政視察・・・渡辺前議長
- ⑥7/25 交通安全対策協議会総会・・・渡辺前議長
- ⑦7/31 県町村議会議長会なぎさブロック会議・・・奥津議長
- ⑧8/2 新湘南国道並びに藤沢大磯線(湘南新道)新設改良促進協議会に係る本省庁等への要望活動・・・奥津議長
- ⑨8/6 県町村議会議長会議会運営委員会正副委員長研修会
・・・坂田副委員長
- ⑩8/1・2 JIAM市町村議会議員特別セミナー・・・坂田議員
- ⑪8/8・9 JIAM市町村議会議員トップマネジメントセミナー
・・・奥津議員・竹内議員・清水議員
- ⑫行政視察について・・・渡辺議長
 - 7/17 新潟県聖籠町議会・議会運営委員会・・・渡辺前議長
議会改革について視察来庁した。
 - 7/23 栃木県下都賀郡壬生町議会・・・奥津議長
自治基本条例の制定経過・議会改革・議会広報について、視察
来庁した。

(5) 協議事項

①議会報告会の開催について

議会運営委員会で次のとおり決定した旨、坂田副委員長から報告があり、了承した。

開催日は11月9日土曜日、国府支所にて午後1時30分から、町役場本庁舎4階第1委員会室にて午後7時から開催する。報告担当者等詳細は後日決める。

(6) 事務局からの報告

①24年度決算について

事務局から説明があった。

②市町村アカデミー主催の研修参加について

過去の参加履歴を参考にし、各常任委員会内で調整し、参加者を決定することになった。

③視察来庁について

10月15日に佐賀県基山町議会が自治基本条例について、11月11日、岐阜県養老町議会が議会基本条例等について、11月14日に徳島県町村議会議長会が議長研修として議会改革について視察するために来庁する。

④次期環境事業センターの見学について

1市2町ごみ処理広域化により10月1日から大磯町のごみが平塚市で焼却されるにあたり、臨時の議員全員協議会を9月5日(木)に開催し、その中で次期環境事業センターを議員全員で見学することを決めた。

⑤その他

・次回の議員全員協議会は、9月27日(金)午後1時30分からの予定